

# CS-231

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、CS-231 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術サポート部

TEL :03-5323-7178

MAIL :support@atenjapan.jp

2008年6月26日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

## ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 納品日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障または破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

### 【製品保証のお申し込み手順】

弊社の製品保証規定に従い保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) **不具合の確認**……製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口へ連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) **本規定に基づく製品保証のご依頼**……(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『製品納品日が証明できる書類』を用意して、製品を購入された販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) **製品の発送**……不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

## 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品／液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～3 年	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～2 年	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品納品日から30 日以内に弊社または販売店に申告を頂いた不具合を初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途お問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類はDOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL(生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された場合に適用されます。それ以前に購入された製品については、1年間の保証となります。

## 【補足】

- ・本規定はATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・ケーブル類・電源アダプタは初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。
- ・製品保証を受けるにあたり、製品の納品日が証明できない場合は製品のシリアルナンバーから判別した製造日を起算日とします。ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

<b>購入前のお問い合わせ</b>	ATEN ジャパン株式会社 営業推進部 TEL:03-5323-7170 MAIL:sales@atenjapan.jp
<b>購入後のお問い合わせ</b>	ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 TEL :03-5323-7178 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

FCC.....	7
RoHS .....	7
同梱品 .....	8
マニュアル表記について .....	9
製品概要 .....	10
特長.....	10
必要システム構成.....	11
オペレーティングシステム .....	11
ケーブル.....	11
製品各部名称 .....	12
フロントパネル .....	12
リアパネル.....	13
セットアップ .....	15
接続図 .....	16
操作方法.....	17
オートモード.....	17
マニュアルモード.....	20
ホットキーセッティングモード.....	21
ホットキーセッティングモードの起動.....	22
ホットキーセッティングモード一覧.....	22
キーボードエミュレーションマッピング .....	24
Mac キーボード.....	24
ファームウェアのアップグレード.....	25
ファームウェアの更新を始める前に .....	25
アップグレード開始.....	26
アップグレード成功.....	28
アップグレード失敗.....	29
製品仕様.....	30
トラブルシューティング .....	32

## FCC

---

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起すことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

## 同梱品

---

CS-231 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS-231 2 ユーザー PS/2 USB コンピュータ共有器 ×1
- ◆ USB KVM ケーブル ×1
- ◆ 電源アダプタ ×1
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ デイップスイッチステッカー ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

## マニュアル表記について

---

[   ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ( , )を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

## 製品概要

---

CS-231 はマイクロプロセッサで制御されたコンピュータ共有器です。2 人のユーザーがそれぞれのコンソール(USB キーボード、USB マウスおよびモニタ)から 1 台の USB または PS/2 コンピュータを共有できる、マルチユーザー・シングルタスクデバイスです。

CS-231 は、SOHO の環境に最適な製品です。本製品によって、コストのかかるネットワーク環境を導入することなく、2 名のユーザーでコンピュータ上のプログラムやファイルへ簡単にアクセスすることができ、また、これらを共有することも可能です。

## 特長

---

- ◆ 2 組の USB コンソールで 1 台の PC を共有可能
- ◆ コンピュータ側インターフェースは PS/2・USB に対応
- ◆ マルチプラットフォーム対応 (Windows、Mac、Unix、Linux)
- ◆ 手動または自動コンソール選択
- ◆ ホットキーによる操作が可能
- ◆ ファームウェアアップグレード可能
- ◆ 特権ユーザーはプライベートモードの利用が可能
- ◆ スクリーンセーバー機能
- ◆ 4 パターンのタイムアウト設定
- ◆ VGA、SVGA、MultiSync モニタに対応
- ◆ ソフトウェアのインストール不要

## 必要システム構成

### オペレーティングシステム

- ◆ Microsoft Windows 2000、XP、2003 以降
- ◆ Red Hat Linux 7.1、7.2、7.3、8.0 以降
- ◆ Mandriva Linux 9.0 以降
- ◆ SUSE 8.2 以降
- ◆ FreeBSD 4.2、4.3、4.5 以降
- ◆ Netware 6.0 以降
- ◆ Netware 5.0(ただし、PS/2 対応コンピュータに限る)
- ◆ Mac OS 8.6、9.0、9.1、X、10.1、10.2、10.3、10.4 以降

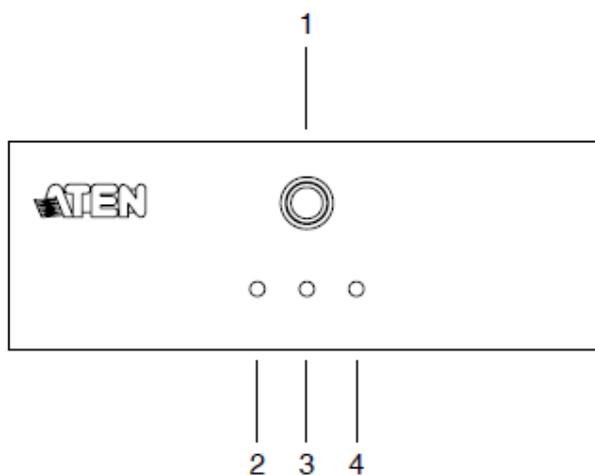
### ケーブル

CS-231 の推奨条件に満たないケーブルは接続されている機器の故障の原因になったり、正しい処理ができなくなったりするおそれがあります。信号の整合性を保つため、また表示画面のレイアウトを簡素化させるためにも高品質の CS カスタムケーブルセットのご使用を強くお勧めします。これらのケーブルをお求めの際には、お手数ですが、代理店、または販売店までご連絡ください。

製品画像	機能	型番(長さ)	
	PS/2 KVM ケーブル	2L-5201P(1.2m)	
	スイッチ側	SPHD × 1	2L-5202P(1.8m)
	コンピュータ側	キーボード用ミニ DIN6 ピン オス	2L-5203P(3m)
		マウス用ミニ DIN6 ピン オス	2L-5206P(6m)
		モニター用 D-sub15 ピン オス	2L-5210P(10m)
	USB KVM ケーブル	2L-5201U (1.2m)	
	スイッチ側	SPHD × 1	2L-5202U (1.8m)
	コンピュータ側	USB タイプ A オス	2L-5203U (3m)
		モニター用 D-sub15 ピン オス	2L-5205U (5m)

## 製品各部名称

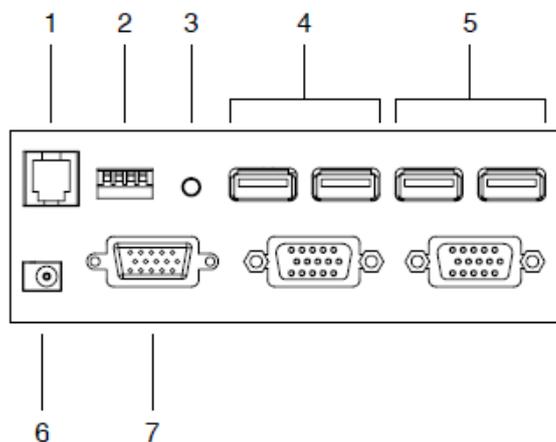
### フロントパネル



No.	名称	説明
1	マニュアル/オート 選択ボタン	本体前面のモード切替ボタンにより、オートモードとマニュアルモードの間で切替を行います。デフォルトはオートモードです。ボタンを押すと、オートモード→マニュアル(コンソール 1)→マニュアル(コンソール 2)→オートモードの順に切り替わります。
2	コンソール 1 LED ランプ*	コンソール 1 がコンピュータにアクセスしているときに点灯しますが、コンソール 2 がコンピュータにアクセスするとランプが消えます。
3	コンソール 2 LED ランプ*	コンソール 2 がコンピュータにアクセスしているときに点灯しますが、コンソール 1 がコンピュータにアクセスするとランプが消えます。
4	マニュアル操作 LED ランプ	CS-231 がマニュアルモードにセットされていることを表します。オートモードの際には LED は点灯しません。

\* オートモードにおいて、どちらのコンソールもコンピュータにアクセスしていない場合、両方のコンソール LED ランプが点灯されます。

## リアパネル



No.	名称	説明
1	ファームウェア アップグレードポート	ファームウェアアップグレードケーブルを接続して、管理者のコンピュータからファームウェアを更新します。 (詳細はp.25の「ファームウェアのアップグレード」をご参照ください)
2	ディップスイッチ	4ピンのディップスイッチで、タイムアウト、プライベートモードおよびスクリーンセーバーを設定します。 (詳細は p.20 の「ディップスイッチ設定一覧」をご参照ください)
3	リセットボタン	このピンホール型ボタンを押してシステムをリセットします。
4	コンソールポート 2	コンソール 2 のモニタ、USB マウスおよびキーボードを接続します。
5	コンソールポート 1	コンソール 1 のモニタ、USB マウスおよびキーボードを接続します。

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
6	電源ジャック	電源アダプタケーブルをこのジャックに差し込んでください。
7	PC ポート*	製品同梱の 15 ピン SPHD コネクタを接続します。KVM ケーブル片側の HDB-15 ピンコネクタと USB コネクタはコンピュータに接続します。お使いのコンピュータに USB ポートがない場合は、別途 PS/2 仕様の専用 KVM ケーブルをお求め下さい。

---

\* この 15 ピン SPHD コネクタは、ATEN 製 KVM スイッチ専用開発されたものです。通常の 15 ピン VGA コネクタをこのポートに接続しないでください。

## セットアップ

---

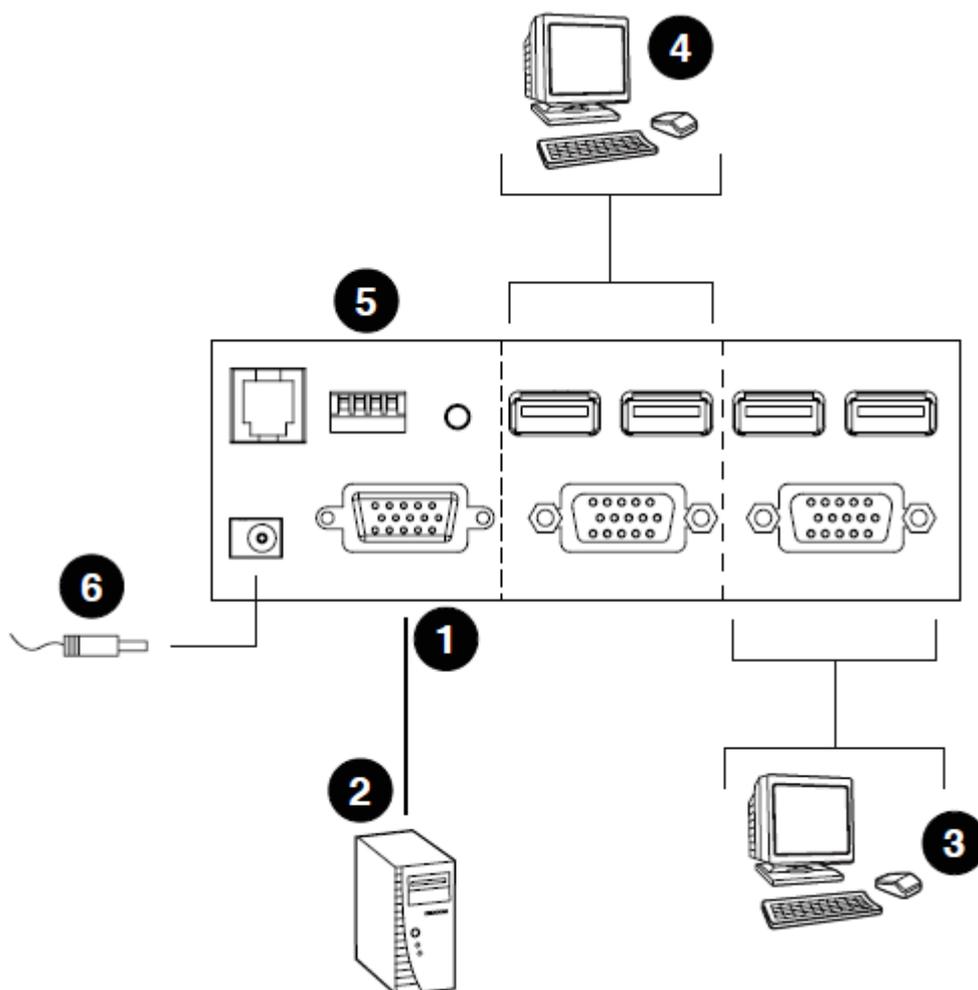


1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。
2. コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスが正しくアースされていることを確認してください。

以下の手順に従って CS-231 のセットアップを行ってください。(必要であれば、次のページの接続図を参考にしてください。)

1. KVM ケーブルの SPHD コネクタを CS-231 本体のコンソールポートに接続してください。
2. KVM ケーブルの VGA コネクタおよび USB コネクタを、それぞれコンピュータの VGA ポートと USB ポートに接続してください。
3. CS-231 本体のコンソール 1 に、1 台目のコンピュータのキーボード・マウス・モニタの各コネクタを接続してください。
4. CS-231 本体のコンソール 2 に、2 台目のコンピュータのキーボード・マウス・モニタの各コネクタを接続してください。
5. ディップスイッチの設定を行って下さい。(詳細は p.20 の「ディップスイッチ設定一覧」をご参照下さい)
6. 電源アダプタを CS-231 に接続してください。
7. コンピュータおよびモニタの電源を入れてください。

# 接続図



## 操作方法

---

CS-231 には、オートモードとマニュアルモードの 2 つの操作モードがあります。

### オートモード

オートモード下の操作は下記を参考にして行って下さい。

1. CS-231 に電源が入ると、オートモードで動作し、コンソール入力の先着順で処理を行います。コンソール 1・コンソール 2 の各 LED ランプが点灯し、マニュアル操作 LED ランプは点灯しません。
2. 待ち受け中に先にキーボード、またはマウスで操作が行われたコンソール側が操作権限を取得し、操作可能となります。このとき、CS-231 には以下のように動作します。
  - ◆ 操作権限を取得したユーザーコンソールの LED ランプが点灯します。
  - ◆ 操作権限のない方のコンソール LED ランプは消えます。
  - ◆ ユーザーコンソール側にロックがかかります。
  - ◆ 操作権限のないユーザーのモニタに、システムが使用中であるという内容のメッセージが表示されます。10 秒後、メッセージは消えますが、画面の表示は引き続き見ることができます。ユーザーからのキーボードまたはマウスの入力があると、メッセージが再び表示されます。
  - ◆ コンピュータを操作しているユーザーは、次のホットキーによって別ユーザーのモニタを非表示にすることができます。

**[Num Lock] + [-] → [D]**

別ユーザーからキーボードまたはマウスの入力があると、システムが使用中であるという内容のメッセージが表示されます。10 秒後にメッセージは消え、モニタは黒い画面に戻ります。ユーザーからキーボードまたはマウスの入力があれば、メッセージが再び表示されます。

3. 操作権限を持っているユーザーからのキーボード・マウス入力があるまま、タイムアウトまでの時間(ディップスイッチ ピン 1 および 2 を使って操作)が経過してしまった場合、CS-231 には以下の動作が見られます。
  - ◆ CS-231 がユーザーロックを解除します。
  - ◆ オートモードに切り替わります。
  - ◆ コンソール LED ランプが両方とも点灯します。
  - ◆ マニュアル LED ランプが消えます。(オートモードの為)
  - ◆ 各コンソールはコンピュータを操作できるようになり、先に操作した方に権限が与えられます。
  
4. オートモードを終了するためには、操作対象となるコンソール側に操作権限が切り替わるように、マニュアル/オート選択ボタンを押してください。

### タイムアウト

オートモードにおいて、ディップスイッチのピン1・ピン2を操作することによって、コンソールロックが解除されるまでのタイムアウトを設定することができます。ピンの設定方法およびタイムアウト値に関する詳細は、ディップスイッチ設定表(p.20)を参照してください。(オートモードについては、p.17を参照してください。)

---

**注意:** CS-231 を最適な状態でお使いいただくために、ディップスイッチは CS-231 とコンピュータに電源を入れる前に設定してください。

---

## プライベートモード(コンソール1)

プライベートモードはオートモード内にて作動します。プライベートモード中、コンソール2ユーザーはコンピュータの監視および操作が不可能になり、コンソール1ユーザーのみ操作権限を持ちます。なお、タイムアウトの設定値はプライベートモードでは無効となります。

プライベートモードを開始する場合は、以下の手順で操作してください。

1. 本体がオートモードで、かつディップスイッチのピン3がONに設定されていることを確認してください。
2. タイムアウトになるまで待ちます。
3. コンソール1のキーボードで[Shift]キーを2秒以内に6回押します。  
タイムアウト後、コンソール1にコンピュータのデスクトップが表示され、操作が可能となります。コンソール2の画面にはシステムが使用中であるという内容の警告メッセージが表示されます。10秒後にメッセージは消え、モニタは黒い画面になります。  
この時、コンソール2を使用中のユーザーからキーボードまたはマウスの入力があると、OSDメッセージが再度表示されます。

プライベートモードを終了する場合は、以下の手順で操作してください。

1. コンソール1のキーボードから[Shift]キーを2秒以内に6回押すか、マニュアル/オート選択ボタンを押します。

## スクリーンセーバー

ディスプレイを保護するために、CS-231がオートモードで、かつ、どのユーザーもコンピュータにアクセスしていない場合、縞イメージが下方向にスクロールするスクリーンセーバーを利用することができます。この機能を有効にする場合は、ディップスイッチのピン4を「ON」に設定してください。

## ディップスイッチ設定一覧

ディップスイッチ ピン				機能
1	2	3	4	
ON	ON	×	×	5 秒でタイムアウトになります。
OFF	ON	×	×	60 秒でタイムアウトになります。
ON	OFF	×	×	125 秒でタイムアウトになります。
OFF	OFF	×	×	255 秒でタイムアウトになります。
×	×	ON	×	プライベートモードを有効にします。
×	×	OFF	×	プライベートモードを無効にします。
×	×	×	ON	スクリーンセーバーを有効にします。
×	×	×	OFF	スクリーンセーバーを無効にします。

**注意:** ディップスイッチのピンを倒すと ON に、また、ピンを起こすと OFF に設定します。

## マニュアルモード

マニュアルモードはオートモードのタイムアウトよりも長い時間でコンピュータを操作する場合に使用します。また、マニュアル/オート選択ボタンを押すことにより、コンソールの操作権限は以下のように切り替わります。

オートモード → コンソール1 → コンソール2 → オートモード

- ◆ マニュアルモードの場合、CS-231 が選択されたコンソールに切り替わると、もう片方のコンソールからは操作できなくなります。マニュアル/オート選択ボタンが再び押されるまで、選択されたコンソール側の操作権限は維持されます。
- ◆ 片方のユーザーモニタにはシステムが使用中であるという内容のメッセージが表示されます。10 秒経過すると、メッセージは消え、ユーザーはコンピュータをモニタリングすることができるようになります。ユーザーからのキーボード・マウスの入力があるとメッセージが再び表示されます。

- ◆ 次のホットキーを入力することによって、もう一方のユーザーに対してコンピュータのデスクトップの内容を非表示にすることができます。

[Num Lock]+[-], [D]

片方のユーザーからのキーボード・マウスの入力があると、システムが使用中であるという内容の、警告メッセージが表示されます。10 秒経過するとメッセージは消え、黒い画面に戻ります。ユーザーからのキーボード・マウスの入力があると、OSD メッセージが再び表示されます。

コンソールの操作権限を切り替える場合は、マニュアル/オート選択ボタンを押すか、もしくは次のコマンドを入力してください。

[Scroll Lock], [Scroll Lock], [Enter]

---

**注意:** [Scroll Lock]キーが他のプログラムの操作と競合する場合は、「Ctrl」キーを代わりにご使用いただけます。詳細については、ホットキーセッティングモード一覧 (p.22)を参照してください。

---

## ホットキーセッティングモード

---

ホットキーセッティングモードは CS-231 のホットキー設定を行います。ホットキー操作はすべてホットキーセッティングモード(HSM)から始まります。

## ホットキーセッティングモードの起動

1. [Num Lock]キーを押したままにしてください。
2. [-]キーを押した後にすぐに離してください。
3. [Num Lock]キーを離してください。

---

**注意:**

1. [-]キーは 0.5 秒内に離してください。長く押し続けるとホットキーが無効になります。
2. ホットキーセッティングモードは他のキーの組み合わせでも起動することができます。詳細については、以下のホットキーセッティングモード一覧を参照してください。

---

## ホットキーセッティングモード一覧

ホットキーセッティングモードを起動した後で、以下の表から操作したい機能に対応するキーを押してください。

キー	機能
[F1]	キーボードレイアウトを PC に設定します。
[F2]	キーボードレイアウトを Mac に設定します。(Mac コンピュータを起動する前に、この設定を行ってください。)
[F4]	現在のホットキー設定をコピーし、テキストエディタにペーストします。
[F5]	USB のリセットを行います。
[D]	他方のコンソールモニタをオフまたはオンにします。(この設定は変更を確定、またはデバイスの電源を切った後で有効になります。)
[H]	ホットキーセッティングモード起動キーを変更します。ホットキーセッティングモードの起動代替キーは[Ctrl] + [F12]です。
[R] [Enter]	デフォルトホットキーの設定を復元します。

(表は次のページに続きます)

キー	機能
[T]	コンソール切替キーをデフォルト設定と代替設定の間で切り替えて変更します。デフォルトのコンソール切替キーは、[Scroll Lock][ Scroll Lock][Enter]、また、代替切替キーは[Ctrl] [Ctrl] [Enter]です。
<i>upgrade</i> [Enter]*	ファームウェアアップグレードモードを起動します。

---

\* キーボードから”upgrade” ([u][p][g][r][a][d][e]の各キー)と入力し、[Enter]キーを押してください。

## キーボードエミュレーションマッピング

### Mac キーボード

コンソールが PC 互換キーボード(101/104キー)であっても、エミュレーション機能により Mac キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

**注意:** 入力の際は同時に押すのではなく、最初のキーを押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

## ファームウェアのアップグレード

---

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティ(FWUpgrade.exe)を使用し、KVM スイッチのファームウェアを自動的に簡単にアップグレードできます。

ユーティリティは、それぞれのデバイスにファームウェアアップグレード可能なパッケージとして提供されます。最新のファームウェアは弊社 Web サイトより提供されますので、定期的に Web サポートサイトをご覧頂きますようお願い致します。

### ファームウェアの更新を始める前に

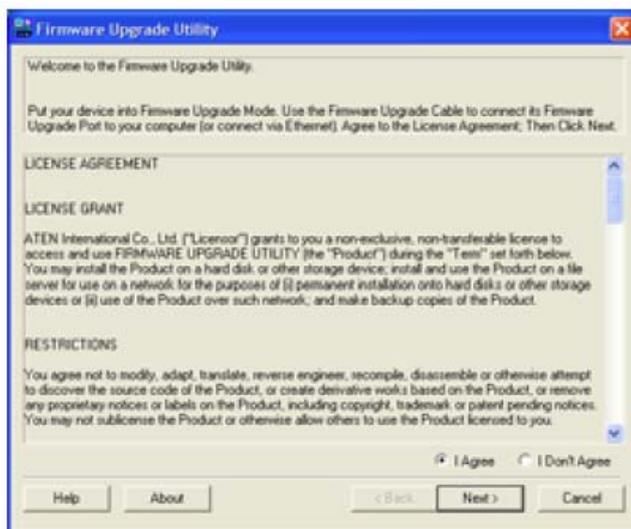
ファームウェアアップグレードをはじめる前に下記のように準備してください。

1. 弊社 Web サポートサイトにアクセスして頂き、必要なデバイス型番(CS-231)のファームウェアアップグレードパッケージを選択してください。
2. 必要なファームウェアアップグレードパッケージ(最新版を推奨)をお使いのパソコンにダウンロードしてください。
3. CS-231 に接続されているコンピュータをシャットダウンしてください。
4. 製品同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用し、KVM 側ファームウェアアップグレードポートと、パソコン側 COM ポートを接続してください。
5. CS-231 に接続されているコンソールから、ホットキーセッティングモードを起動してください。(p.22 参照)「u-p-g-r-a-d-e」と入力した後に「Enter」キーを押してください。) アップグレードモードが開始すると、フロントパネルにある LED ランプが点滅します。

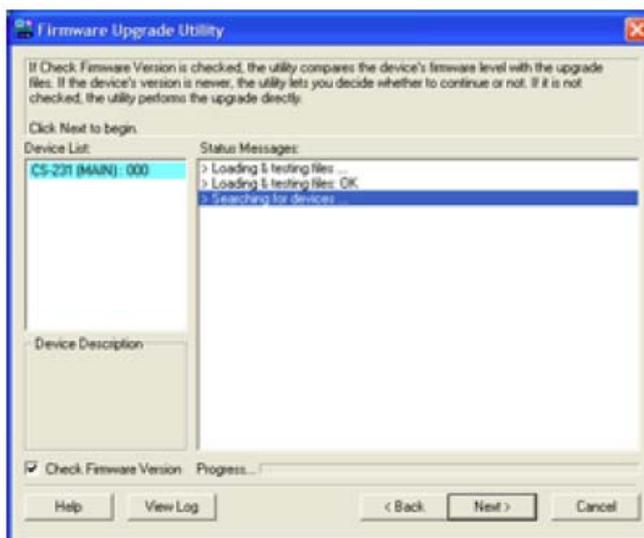
## アップグレード開始

ファームウェアのアップグレードは、以下の手順で行ってください。

1. ダウンロードされたファームウェアアップグレードパッケージを実行してください - ファイルアイコンをダブルクリック、もしくはコマンドラインから実行してください。  
「Welcome Firmware Upgrade Utility」の画面が表示されます。

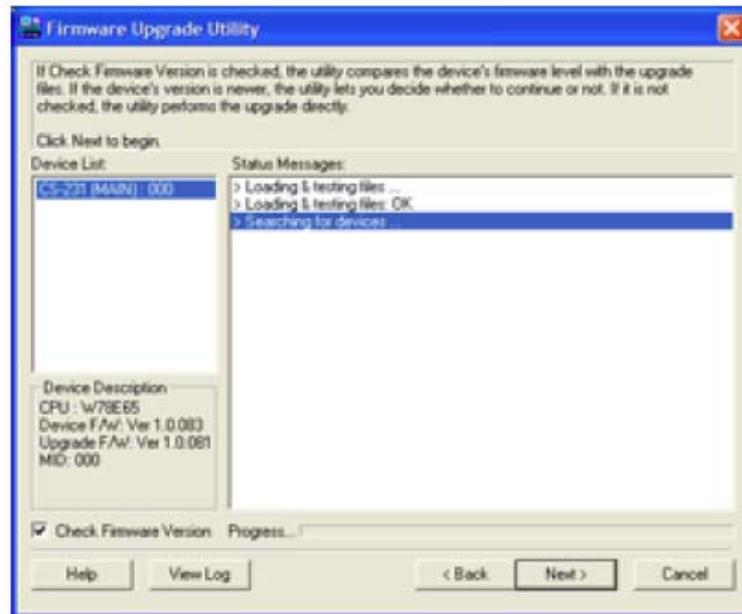


2. 使用許諾契約書の内容を確認し、同意してください。（「I Agree」を選択することで同意）
3. 「Next(次へ)」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。

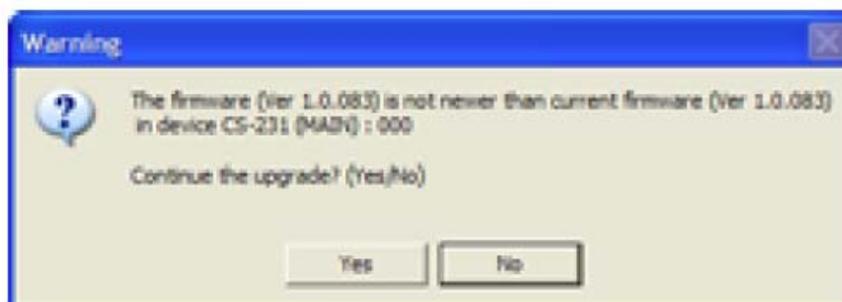


ユーティリティは接続先を調査し、パッケージからアップグレード可能なデバイスリストを表示します。

4. リストからデバイスを選択すると、デバイスの詳細が「Device Description」パネルに表示されます。

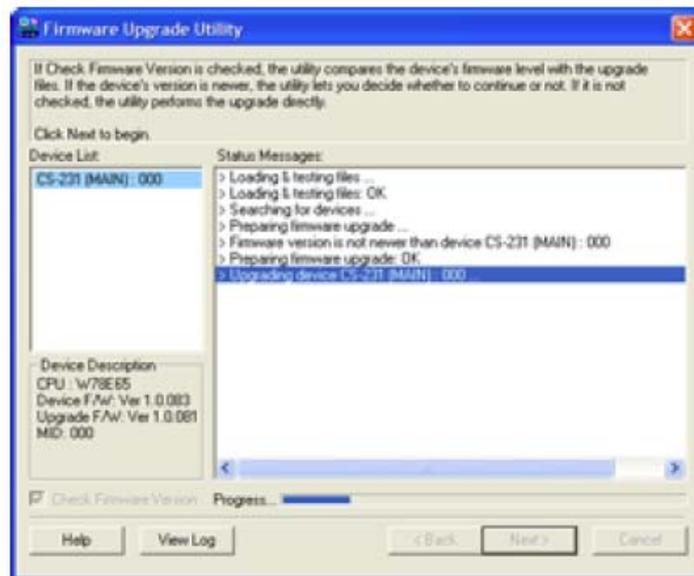


5. デバイスを選択後、「Next(次へ)」ボタンをクリックしアップグレードを開始します。ユーティリティの「Check Firmware Version」にチェックが入っている場合は、デバイスのファームウェアのバージョンと、ダウンロードされたファームウェアのバージョンを比較します。もし、インストールしようとしているファームウェアのバージョンのほうが古い場合、インストールを続行するかどうかの選択を促されます。



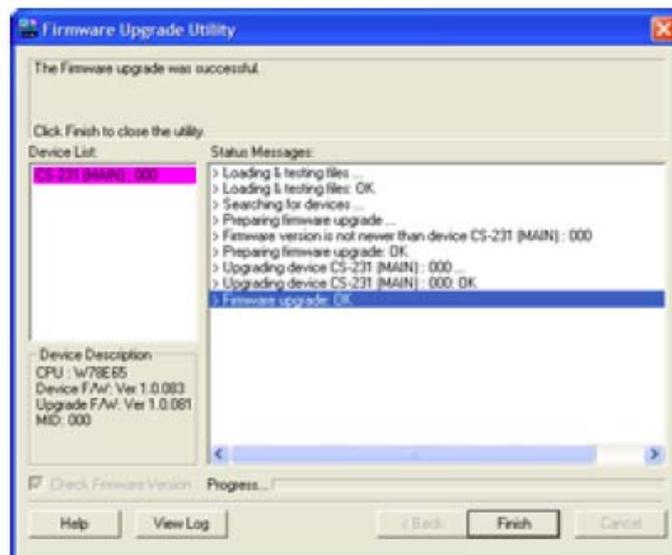
「Check Firmware Version」にチェックが入っていない場合は、ユーティリティはバージョンの比較を行わず、アップグレードを実行します。

アップグレードの処理内容がメッセージパネルに表示され、進行状況はプログレスバーにて表示されます。



## アップグレード成功

アップグレードが完了した後、画面表示にてアップグレードが成功したことを表示します。



「Finish(完了)」をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを閉じてください。  
アップグレードが成功すると、CS-231 は自動的にファームウェアアップグレードモードを終了します。

## アップグレード失敗

前ページのようなアップグレード完了ダイアログが表示されなかった場合、アップグレードに失敗したことを意味します。この場合は、アップグレードの作業を最初からやり直してください。

## 製品仕様

機能		CS-231
コンピュータ接続数		1
コンソール接続数		2
コンピュータ側対応 インターフェース	キーボード マウス	PS/2、USB
コンソール側対応 インターフェース	キーボード マウス	USB
コンソール選択方法		ホットキー、プッシュボタン
コンピュータ側 コネクタ	キーボード マウス モニタ	SPHD(グリーン)メス×1
コンソール側 コネクタ	キーボード マウス モニタ	USB タイプ A メス×2 USB タイプ A メス×2 D-sub15 ピンメス×2
スイッチ	モード選択 リセット DIP	プッシュボタン×1 ピンホール型スイッチ×1 4ピン×1
ファームウェアアップグレードポート		RJ11×1
電源ジャック		DC 電源ジャック×1
LED	ポート選択 マニュアル	グリーン×2 オレンジ×1
キーボード/マウスエミュレーション		PS/2、USB
タイムアウト設定		5,60,125,255 秒(ユーザー設定) /5 秒(デフォルト)
電源仕様(アダプタ)		型番:0AD3-5909-241G 入力:AC100V~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A

(表は次のページに続きます)

機能		CS-231
消費電力		2.2W
VGA 解像度		最大 1,920×1,440;DDC2B 準拠
動作環境	動作温度	0～50℃
	保管温度	-20℃～60℃
	湿度	0～80%RH 結露なきこと
ケース材料		メタル
重量		560g
サイズ(W×D×H)		140×85×55mm
同梱品		2L-5202U(1.8m)ケーブル×1 電源アダプタ×1 ファームウェアアップグレードケーブル×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1
対応 KVM ケーブル		《PS/2 ケーブル》 2L-5201P(1.2m) 2L-5202P(1.8m) 2L-5203P(3m) 2L-5206P(6m) 2L-5210P(10m)  《USB ケーブル》 2L-5201U(1.2m) 2L-5202U(1.8m) 2L-5203U(3m) 2L-5205U(5m)  ※注意:標準で USB ケーブル 2L-5202U×1 本が付属しています。

## トラブルシューティング

問題	対処
マウスやキーボードの入力に対して反応が見られない。	<ol style="list-style-type: none"><li>1. コンピュータに電源を入れる前に、KVM ケーブルが CS-231 のコンピュータポート、およびコンピュータのキーボード・マウスの各ポートに正しく接続されていることを確認してください。</li><li>2. マニュアル/オート選択ボタンを押して、コンソールを切り替えてください。</li></ol>
異なる解像度のモニタを2台使用しているが、解像度の高いほうのモニタにはデスクトップの一部しか表示されない。	解像度の低いほうのモニタ側で、利用可能な最大解像度が設定されています。両方のモニタに対応しているコンピュータグラフィックカードで解像度を選択してください。
PC 互換キーボードを使って Mac キーボードのエミュレーションを行っても有効にならない。	コンピュータを再起動してください。